

看護学科 講義要綱

科目	在宅看護論概論	単位	1	時間数	30	開講期	2年前期	担当者	訪問看護認定看護師： 稲葉一代（6） 看護師：加藤夕紀子（4） 坂本希世子（18） 看護師：木下晴美（2）
----	---------	----	---	-----	----	-----	------	-----	---

講義の目標及び概要	<p><学習目標> 在宅看護の特徴と在宅療養者および家族についての理解</p> <p><概要></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 在宅看護論を学ぶ意義と必要性について理解する 2 地域で療養する対象者および家族の特性とそのニーズを理解する 3 施設看護と在宅生活とをむすぶ看護の必要性について理解する。 4 在宅看護活動の実際と訪問看護の機能と役割を理解する 5 在宅看護に関連するチームケアの重要性について理解する 		
講義項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 在宅看護の意義と必要性 2 在宅看護の対象とその家族 <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅看護の対象者 2) 対象者の生活 3 在宅看護の方法（制度と訪問看護のシステム） 4 看護の継続性 <ol style="list-style-type: none"> 1) 施設看護と在宅を結ぶ看護 2) 施設内看護と在宅看護の機能の相違と特徴 5 在宅看護の特徴 <ol style="list-style-type: none"> 1) 生活の自立支援 2) 病状・病態の変化の予測と予防 3) 生活の中で起こる問題の予測と予防 4) 家族介護者の理解と健康支援 5) チームケアの重要性 6) ケアマネジメントと看護の役割 6 対象者の権利保障 		
回数	内容	看護師教育の技術項目	担当教員
1	開講オリエンテーション 在宅看護とは		坂本希世子
2	在宅療養の現状 時事記事をとおして在宅療養の現状を知る		
3	地域包括ケアシステムの仕組み 地域包括ケアシステムのしくみと推進の取り組みと課題		静岡市地域包括ケア推進本部 木下晴美
4	在宅看護の変遷と社会のニーズ		坂本希世子
5	在宅看護の対象者		
6	訪問看護ステーションの仕組み		稲葉一代
7	「訪問看護ステーションをつくろう」		
8	グループワーク		坂本希世子
9	在宅看護の実践		
10	暮らしの中の看護過程		加藤夕紀子
11	地域医療支援、地域連携の実際		
12	退院支援と継続看護		

13	家族へのアプローチ																													
14	在宅看護で倫理が必要となる場面		坂本希世子																											
15	終了試験																													
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・学習態度 ・終了試験 																													
受講生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅は「暮らし」の視点をもつことが必要です。普段から生活に関心を持ち、観察できる目を養っておきましょう。 ・実習での患者さんとの関わりも大切に、受け持ち患者さんのご自宅での生活をイメージしてみましよう。 ・社会の動向にも目を向けてください。 																													
テキスト	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">① 書名</td> <td style="width: 33%;">② 著者名</td> <td style="width: 33%;">③ 発行所</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤</td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>看護実践のための 根拠がわかる 在宅看護技術</td> <td></td> <td>メヂカル</td> </tr> <tr> <td>フレンド社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>写真でわかる訪問看護</td> <td>押川眞喜子</td> <td>インターメ</td> </tr> <tr> <td>ディカ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座 家族看護学</td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>国民衛生の動向2021 /2022</td> <td></td> <td>厚生労働</td> </tr> <tr> <td>統計協会</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			① 書名	② 著者名	③ 発行所	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤		医学書院	看護実践のための 根拠がわかる 在宅看護技術		メヂカル	フレンド社			写真でわかる訪問看護	押川眞喜子	インターメ	ディカ			系統看護学講座 家族看護学		医学書院	国民衛生の動向2021 /2022		厚生労働	統計協会		
① 書名	② 著者名	③ 発行所																												
系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤		医学書院																												
看護実践のための 根拠がわかる 在宅看護技術		メヂカル																												
フレンド社																														
写真でわかる訪問看護	押川眞喜子	インターメ																												
ディカ																														
系統看護学講座 家族看護学		医学書院																												
国民衛生の動向2021 /2022		厚生労働																												
統計協会																														
参考文献	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">① 書名</td> <td style="width: 33%;">② 著者名</td> <td style="width: 33%;">③ 発行所</td> </tr> <tr> <td>2022年度版 医療福祉総合ガイドブック</td> <td>NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> </table>			① 書名	② 著者名	③ 発行所	2022年度版 医療福祉総合ガイドブック	NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会				医学書院																		
① 書名	② 著者名	③ 発行所																												
2022年度版 医療福祉総合ガイドブック	NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会																													
		医学書院																												

看護学科 講 義 要 綱

科目	在宅看護の方法Ⅰ (在宅における看護 実践の方法)	単 位	1	時 間 数	30	開 講 期	2年前 期	担 当 者	看護師： 玉木 恭子 (22呼吸認定士 含) 訪問看護ステーション看護 師 漆畑 理津子 (2) 訪問看護ステーション 皮膚・排泄ケア認定看護師 大川 瑞江 (2) 家族支援専門看護師 加藤 智子 (4)
----	---------------------------------	--------	---	-------------	----	-------------	----------	-------------	--

講義 の目 標及 び概 要	<学習目標> 療養者・家族が望ましい生活をするための看護実践について学ぶ <概要> 1 在宅看護における援助関係の基本を理解する。 2 訪問時の態度やマナーが人間関係成立の要因になることを理解する。 3 在宅看護における生活支援の方法と技術を理解する。 4 在宅看護における医療管理を必要とする人の看護の方法と技術を理解する。 5 慢性期、長期療養、終末期など、健康障害に応じた看護の方法と技術を理解する。		
回数	学習内容	備考・看護師教育の技術項目	担当教員
1	在宅療養者・家族を支えるとは？ ・在宅看護の対象の理解 在宅看護（訪問看護）における社会保険 制度とマナー		玉木恭子
2 3	在宅看護の対象者の理解：家族とは？ ・家族看護とは、家族の捉え方など ・家族看護モデルなど	現代の家族について理解し、援助対象者である患者・療養者を含めた家族へのケア方法を学ぶ	家族支援専門看護師 加藤智子
4 5	看護ケアプランの計画・立案・演習 生活援助技術のワーク	・日常生活における援助をそれぞれの生活場面を設定し、自立へ向けた援助を工夫して行う	玉木恭子
6 7	看護ケアプランの実際・発表	・訪問時マナーも取り入れ、援助を行う ・援助は録画を行い、発表や振り返りに活用する	
8	医療を必要とする対象の看護 ・薬物療法を受けている対象の看護（在宅療養での麻薬の管理等） ・在宅経管栄養法を行っている対象の看護	8：膀胱留置カテーテルの管理 45：薬剤等の管理	訪問看護ステーション 看護師 漆畑理津子

	・在宅膀胱留置カテーテルを使用している対象の看護		
9	医療を必要とする対象の看護 ・皮膚の処置を必要としている対象の看護 褥瘡予防ケア・ストーマ管理など	12：ストーマ管理 35：褥瘡予防ケア 36：創傷処置	訪問看護ステーション 皮膚・排泄ケア認定看護師 大川瑞江
10	医療を必要とする対象の看護 ・在宅中心静脈栄養法を行っている対象の看護	44：点滴静脈内注射の管理	玉木恭子
11	在宅酸素療法の実際 ・在宅酸素療法とNIPPV療法の対象の理解・器具の理解・緊急時の対応	呼吸療法認定士や在宅酸素療法の器具に関する専門家の講義 30：酸素吸入方法の実施	玉木恭子 看護師・呼吸療法認定士
12	在宅療養者の自立支援の実際 ・福祉用具・住宅環境の活用と実際 ・福祉用具の製作	静岡市リハ・パークの理学療法士・作業療法士より、実際の在宅で使用する福祉用具や、対象の生活への工夫を学ぶ	理学療法士・作業療法士
13	在宅における終末期医療・看護について ・終末期にある療養者・家族の看護		玉木恭子
14	在宅における終末期看護 ・終末期～臨死期・死別期にある療養者・家族の看護		玉木恭子
15	筆記試験		
評価方法	1. 出席状況 2. 学習態度 3. 演習態度 4. 終了試験 1～3までの評価で全体の30%程度の配点 4では70%ほどの配点とします		
受講生への要望	態度やマナーについては講義のみでは習得は不十分であるので、平素からマナーや態度にこころがけ実践を積んでいきましょう。 在宅看護の対象は療養者と家族です。この講義は、「家族」とは？を考える機会となります。療養者の良好な暮らしには「家族」の存在をどう捉えるか、考えるか、サポートするかがあります。自分自身の「家族観」も深まる機会として下さい。		
テキスト	① 書名 1 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実際 2 看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術 レンド社 3 写真でわかる訪問看護 押川眞喜子 ディカ 4 2022年度版医療福祉総合ガイドブック NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会 5 在宅での療養と介護を支える制度のかしこい使い方 者 医学と看護		

6 系統看護学講座 別巻 家族看護学	医学書院
※漆畑先生・大川先生は4総合ガイドブック以外を使用する	
参考① 書名	② 著者名
文献 おうちで死にたい①～⑤	広田奈都美
	③ 発行所 秋田書店

看護学科 講義要綱

科目	在宅看護の方法Ⅱ (在宅看護における 看護過程の展開)	単 位	1	時 間 数	30	開 講 期	2年後 期	担 当 者	看護師：坂本 希世子 (28) 介護支援専門員：松本利枝 (2)
----	-----------------------------------	--------	---	-------------	----	-------------	----------	-------------	---

講義 の目 標及 び概 要	<p><学習目標> 在宅療養者を取り巻く社会について理解し、ケアマネジメントの実際を知ること で、地域包括ケアシステムの中での看護の役割について考える。在宅療養者 がよりよく生きるために多職種が連携して在宅生活を支援する中での看護の役 割を理解したうえで、看護過程の展開方法を学ぶ。</p> <p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅療養者のケアマネジメントの実際と看護過程の特徴および展開方法を理 解する。 対象の日常生活と家族支援の視点・アセスメントの方法を理解する。 事例展開を通して、在宅療養者および家族がもつ健康課題・看護上の問題を 理解し、看護計画を立案する。 在宅療養者およびその家族のQOLの向上について考え、看護師の果たす役割 が理解できる。 多職種の専門性を理解し、連携方法の実際を学ぶ。 		
講義 項目	<ol style="list-style-type: none"> ケアマネジメントの実際 ケアマネジメントの展開（事例を使った居宅サービス計画書の作成） 在宅看護過程 訪問看護計画書の作成（事例展開） 在宅看護過程の展開事例発表 多職種連携の実際 多職種の専門性の理解 サービス担当者会議の実際 		
内容	看護教育の技術項目	担当教員	
1	在宅療養者の自立支援の実際 静岡市リハビリテーション推進センター「リ ハパーク」体験見学	快適な療養環境の整備 (1) 安全な療養環境の整備 (転倒・転落・外傷予 防) (65)	坂本希世子
2	社会保障制度と地域包括ケアシステム 介護保険法、障害者総合支援法などの法制度 のしくみと地域包括ケアシステム		
3	在宅療養者のケアマネジメント ケアマネジメントの考え方と事例紹介 講義・グループワーク		
4	居宅サービス計画書の作成 居宅サービス計画書の作成（講義）		
5	在宅療養者に必要なサービスの理解（個人 ワーク）		

6	居宅サービス計画書の過程の展開																							
7	アセスメント・望ましい姿に対する問題の明確化・計画立案（グループワーク）																							
8	居宅サービス計画書の過程の展開（発表）																							
9	訪問看護のしくみと法的根拠 講義・グループワーク																							
10	訪問看護過程の展開 居宅サービス計画書のもとづく訪問看護計画立案（グループワーク）																							
11	訪問看護過程の展開（発表）																							
12	多職種連携の方法を学ぶ 多職種の成り立ちと専門性を知る																							
13	サービス担当者会議の実際 （グループワーク）																							
14	在宅療養者を支えるサービス事業の実際 在宅に必要なサービスを事業者の視点から考える		N P 法 人 WAC清水 理事長 松本利枝																					
15	終了試験		坂本希世子																					
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・演習、グループワークへの取り組み姿勢 ・終了試験 																							
受講 生への要 望	<p>在宅看護過程を展開するにあたっては、看護過程の知識だけでなく福祉制度についての知識が必要です。過去に老年看護学や社会福祉等の講義で学んだ各種制度については各自で復習しておきましょう。</p> <p>実際に在宅介護に従事している方に実践を語っていただきます。在宅での制度やサービスについての知識が必要です。在宅看護概論や在宅看護の方法Ⅰ・Ⅱの授業を振り返って臨みましょう。</p>																							
テキ スト	<table border="0"> <tr> <td>① 書名</td> <td>② 著者名</td> <td>③ 発行所</td> </tr> <tr> <td>系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実際</td> <td></td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>医療福祉総合ガイドブック（坂本のみ使用）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>研究会</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国民衛生の動向2022/2023</td> <td></td> <td>厚生労働統計</td> </tr> <tr> <td>協会</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和4年度版 静岡市の介護保険（4月に配布します）</td> <td></td> <td>静岡市</td> </tr> </table>			① 書名	② 著者名	③ 発行所	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実際		医学書院	医療福祉総合ガイドブック（坂本のみ使用）			研究会			国民衛生の動向2022/2023		厚生労働統計	協会			令和4年度版 静岡市の介護保険（4月に配布します）		静岡市
① 書名	② 著者名	③ 発行所																						
系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実際		医学書院																						
医療福祉総合ガイドブック（坂本のみ使用）																								
研究会																								
国民衛生の動向2022/2023		厚生労働統計																						
協会																								
令和4年度版 静岡市の介護保険（4月に配布します）		静岡市																						
参考 文献	<table border="0"> <tr> <td>① 書名</td> <td>② 著者名</td> <td>③ 発行所</td> </tr> <tr> <td>看護実践のための 根拠がわかる 在宅看護技術</td> <td></td> <td>メヂカルフ</td> </tr> <tr> <td>レンド社</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			① 書名	② 著者名	③ 発行所	看護実践のための 根拠がわかる 在宅看護技術		メヂカルフ	レンド社														
① 書名	② 著者名	③ 発行所																						
看護実践のための 根拠がわかる 在宅看護技術		メヂカルフ																						
レンド社																								

